

ペグインターフェロン・リバビリン併用療法を受けられる患者さまへ

月日(日時)	/		/		/	
入院日	入院日	注射開始日	入院3、4日目	入院5、6日目	入院7、8日目	退院日
達成目標	◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し、同意する	◆ペグインターフェロン・リバビリン併用療法が導入できる ◆副作用の内容が理解できる ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆副作用の内容が理解できる ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる ◆内服の必要性が理解でき自己管理できる ◆副作用がなく内服できる	◆副作用の内容が理解できる ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる ◆内服の必要性が理解でき自己管理できる ◆副作用がなく内服できる	◆副作用の内容が理解できる ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる ◆内服の必要性が理解でき自己管理できる ◆副作用がなく内服できる	【退院基準】 ◆外来でのペグインターフェロン・リバビリン投与に移行できる ◆血液検査の結果、2回目の注射ができる ◆退院後の治療や注意事項が理解できる ◆内服の必要性が理解でき自己管理できる
治療		受持医がペグインターフェロンの皮内テストでアレルギーがないことを確認後に1回目のペグインターフェロンの注射をいたします 注射開始日の朝から内服薬の服用開始します 内服薬は毎日朝・夕食後に服用します 看護師が内服の確認をします 体温が38.5度以上の時には解熱薬を服用します	内服薬は毎日朝・夕食後に服用します 看護師が内服の確認をします 体温が38.5度以上の時には解熱薬を服用します	 内服薬は毎日朝・夕食後に服用します 看護師が内服の確認をします 体温が38.5度以上の時には解熱薬を服用します	内服薬は毎日朝・夕食後に服用します 看護師が内服の確認をします 体温が38.5度以上の時には解熱薬を服用します	2回目の注射を行います 内服薬は毎日朝・夕食後に服用します 看護師が退院時処方の確認をします 体温が38.5度以上の時には解熱薬を服用します
薬剤 (点滴・内服)						
検査	血液検査を行います 胸部のエックス線検査を行います 体重を測ります		3日目に眼科受診があります	5日目に血液検査を行います	8日目に血液検査を行います 8日目に体重を測ります	
活動 安静度	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません
栄養(食事)	治療食です	治療食です	治療食です	治療食です	治療食です	治療食です
清潔	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません
排泄	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません	制限ありません
患者様及びご家族への説明 リバビリン栄養指導 服薬指導	受持医が治療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 薬剤師が内服薬と療養手帳について説明いたします 栄養士が食事について説明いたします  入院費は3割負担で概ね20万円になります。 入院費に関するご心配がありましたらお早めに医療福祉相談室にご相談ください ～メモ～	治療中、下記の副作用が出現することがあります ・倦怠感・発熱・関節痛 ・無気力・不眠・不安 ・皮疹 ・注射部位の発赤・腫脹 ・点状出血 ・ふらつき ・動悸 ・頭痛 ・から咳 ・食欲不振・嘔気 症状が出た時は、早めに看護師へお知らせ下さい 注射部位が赤くなったり痒みが出る場合がありますため、毎回注射部位を変更します 薬を飲み忘れた時は自己判断せず、早めに看護師にお知らせ下さい ～メモ～	 副作用と思われる症状が出た時は、早めに看護師にお知らせ下さい 血液検査の結果で薬の量が変わることがあります 薬を飲み忘れた時は自己判断せず、早めに看護師にお知らせ下さい ～メモ～	 副作用と思われる症状が出た時は、早めに看護師にお知らせ下さい 血液検査の結果で薬の量が変わることがあります 薬を飲み忘れた時は自己判断せず、早めに看護師にお知らせ下さい ～メモ～	8日目に薬剤師が内服薬について説明いたします 8日目に栄養士が退院後の食事について説明いたします 副作用と思われる症状が出た時は、早めに看護師にお知らせ下さい 血液検査の結果で薬の量が変わることがあります 薬を飲み忘れた時は自己判断せず、早めに看護師にお知らせ下さい ～メモ～	注射部位が赤くなったり痒みが出る場合がありますため、毎回注射部位を変更します 指定された外来受診日に消化器内科外来を受診して下さい 【肝臓病教室について】 毎年6月～翌年3月の毎月第3金曜日(15時30分～16時45分)肝臓病教室を行っています。詳細は肝臓病教室案内をご参照下さい ～メモ～

注1 病名等は現時点で考えられるものであり、今後治療を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。